

公益財団法人天風会 令和6年度事業報告書 (抜粋掲載)

令和6(2024)年度は、令和2年度から始まった新型コロナウイルス感染症の影響低下、令和5(2023)年5月の感染症5類変更などにより、社会生活が概ね元に戻った状況が、一年続いた最初の年度となりました。

本財団においては、代表理事の交代を円滑に実施しつつ、公益財団法人として本来行うべき行事を賛助会と一体となって進めていくことに注力いたしました。

その結果、行事自体が旧に復したことは極めて大きな成果と言えると思います。しかしながら、リアル講習会の参加者は減少、他の行事への参加者は伸び悩みとなっていること、年度後半には、会員数のトレンドが増加から減少に転じたことなど課題も明確になった一年であったと認識しております。この背景には、諸物価高騰や世界的な政治経済の不安定さが目立つようになったことなどの社会情勢の変化を受け、高齢会員の会員継続が難しくなったことや、令和5(2023)年にあったWBC大谷効果がなくなり新規入会数が減少したことがあります。

明るい面としては、大幅な落ち込みを想定していた印税が比較的堅調に推移したことがあります。『運命を拓く』をはじめ天風関連の本へのニーズは衰えていないことは今後の事業計画においては好材料と考えられます。

なお、安定運用上の懸念があった会員管理システムの移行にあたり、令和7年度4月からの稼働に向けた準備を完遂しました。これにより会員サービスの更なる向上を図ることが期待できます。

I 公益目的事業

今年度は、一年を通して通常の公益目的事業運営の推進を行った。

1 「心身統一法」普及事業

(1) 財団主催行事

- ①講習会 心身統一法を説く当財団の中核行事として、今年度より開催形式をリアル開催型(平日夜、火水木3日連続方式、5クール)とオンライン型(事前録画方式)に変更
- ②研修科(年6回) 心身統一法のより深い部分を説く行事として、オンライン講習会と同様に事前収録型で有料提供
- ③運動法セミナー(原則、毎月第4土曜) 運動法・安定坐打・養動法等の解説を中心とした運動法セミナーをZoomミーティング形式にて開催
- ④夏期修練会(東京会場) 天風哲学の真髄を会得し心身の強化と生命力の充実を促進する当会の最主要行事として開催(8月コース4日間、9月コース4日間)
- ⑤秋期瞑想行修会 修練会参加者の一層の深化を目的に開催(2日間)
- ⑥天風塾 一般にも開放された集中講座を開講。3名の講師が各教室を担当
- ⑦一日セミナー 幸福な人生を生きる実感を得ていただくことを目的に、心身統一法全体を学ぶ講座として年4回開催
- ⑧二日セミナー 教えへの理解を深めるためのプログラムとして開催
- ⑨天風哲学ビジネスセミナー ビジネスパーソンに向けて、現代のビジネス上活かせる心身統一法の実践上の工夫を登壇者より提供(ハイブリッド形式)
- ⑩TC(Tempu-Creative)
 - ・女性限定のTC-WOMAN教室を開催。(上期集合型・下期オンライン型)
 - ・「キャリアアップ師との対話～朗読と解説」を2回開催
 - ・新春講演会 4名の講師によるリレー講演をメインに開催
- ⑪オンライン特別行修会 積極精神の日常化・習慣化により、人生の質の飛躍的な向上

を図ることを目的にオンラインで開催（3日間）

- ⑫医学・科学スタディ 最新の医科学的な知見を学び、その内容と天風哲学・心身統一法の関係を見出す目的で開催（ハイブリッド型）

テーマ「宇宙の起源は？」 原哲也氏（京都産業大学名誉教授）

（2）委託行事

賛助会へ運営を委託し、修練会及び秋期瞑想行修会を開催

（鎌倉春期修練会、神戸夏期修練会、多武峰夏期修練会、秋期瞑想行修会・関西会場）

（3）賛助会行事（後援行事含む）

各賛助会が自主的に開催する講習会、行修会や勉強会等に対する運営支援と指導

（4）外部講演会

- ①よみうりカルチャーセンター 講座「運命を拓く」中村天風の教え

全6会場（恵比寿、錦糸町、荻窪、川越、川口、横浜）

- ②西宮市公民館活用促進プロジェクト（神戸の会に運営を委託）

- ③企業・団体からの要請を受け講演等を実施

（5）賛助会への助成・運営支援等

- ①全国20賛助会への活動補助金は、財務状況を考慮し必要な賛助会に配賦

- ②賛助会代表の個別ヒアリングを代表理事（山田理事長、鹿住専務理事）よりオンラインで実施

- ③賛助会代表者会議を1回開催（オンライン）

2. 調査研究活動（中村天風「心身統一法」の教授法の研究）

- ①教務委員会の開催（年5回）

- ②講師ライブラリーの運用

- ③研修員の募集、審査、研修員研修会の実施（オンライン・年5回）

- ④講師補実習の実施

- ⑤講師養成勉強会の実施（オンライン・年3回）

- ⑥「心身統一法」行修リーダーの審査と研修を実施

- ⑦賛助会主催2日以上行修会の監修

- ⑧出版物及びデジタルコンテンツ等の監修

- ⑨教学的研究及び理事会からの諮問に対する答申

3. 出版・広報事業

- ①財団出版物及び監修出版物の販売

- ②新規出版物の制作、監修、協力

- ③雑誌・書籍への執筆協力、資料提供

- ④機関誌「志るべ」の定期発行

- ⑤「志るべ」バックナンバーのデジタル販売に向けた準備

- ⑥財団ホームページの運営及び賛助会ホームページの運営支援

- ⑦メールマガジン及び各種SNS等による広報活動

- ⑧行事及び商品の雑誌・インターネット等広告掲載

- ⑨新たな動画コンテンツ配信の企画準備

- ⑩知的財産権（著作権、商標権等）の管理保全

- ⑪デジタルマーケティングに関する施策

II 収益事業等

- ①一般社団法人アイピーシーとの天風会館5階の賃貸契約を継続

- ②1階と4階を株式会社ティーケーピーに委託し貸会議室として運用

- ③東京の会との地下1階一室及び行事開催時にホール等利用の賃貸契約を継続

- ④飲料メーカー（5 社）と自動販売機設置契約を継続
- ⑤楽天モバイル基地局アンテナ設置を継続

Ⅲ 法人運営に関する事項

- 1 組織 理事の改選。代表理事の交代
- 2 会議 （１）理事会を 7 回、評議員会を 2 回開催
（２）各テーマ毎に関係者による会議を実施
- 3 会館設備 保守・点検・メンテナンスを実施
- 4 基幹業務システム開発 会員管理システム及び EC サイトの開発

以上